

獲に伴うデータを収集、簡易に設置可能で捕獲効率の高い囲いわな等の開発に取り組みます。

また、中国四国農政局や、四国四県など関係機関との連携を推進し、四国全体での効果的な対策に取り組みます。

さらに、四国山地（剣山・三嶺）及び四国西南部（黒尊山・滑床山）において、ニホンジカの動態調査や被害跡地の再生対策に取り組みます。

⑤ 生物多様性の保全に向けた取組

四国森林管理局では、貴重な森林生態系や生物多様性の保全等を図る観点から、保護林の設定や希少種データベース整備を進めています。

平成二四年度の取組で

は、徳島県最高峰の剣山から次郎笈（じろうあし）に至る北西斜面の国有林に位置し、ウ

ラジロモミやブナが生育する四国では数少ない森林を含んでいる名頃（なごろ）谷山（たにやま）国有林（徳島県三好市）において、保護林拡充の調査を行います。

また高知県西部地域において、ヤイロトショウ、コウモリ、ニホンリスやヤマハンショウヅル等の希少動植物の生息・生育状況を把握し、データベースを整備するため調



ニホンリス

査を行い、森林施業に反映させます。

四、森林の理解促進、国民

参加の森林づくりの取組

国有林を活用したふれあいの場の提供、森林環境教育の取組を推進するとともに、森林への理解を深めるための各種イベントの開催等に取り組みます。



野根山街道の宿屋スギ

① 森林とのふれあいの場の提供

（取組例）

平成二四年度は学校等

における森林環境教育の取組の拡大に資するため、体験学習に適した国有林において、体験学習のためのフィールド整備等を実施します。

平成二四年度は、高知県室戸市佐喜浜（さきはま）で室戸ジオパークのサイトに指定されている「段ノ谷山（だんのたにやま）」、（かなぎ）「加奈木の崩え（つ）」及び「野根山街道」、また高知県高知市の工石山（くいしやま）を森林環境教育のフィールドとして活用します。

② 森林への理解の醸成に向けた取組

平成二四年度の取組では森林に親しみ、自然と触れ合うことで、森林に対する理解を深めるために、「魚梁瀬の千本山国有林」を山の案内人と歩き、開通から一〇〇年を経た魚梁瀬森林鉄道の遺産を森林鉄道ガイドの案内で訪ねる散策ツアーを秋期に実施します。

また、一〇月に高知県で開催される「四国山の日」関連イベントにおいて、「四国山の日賞」を授賞し、関係団体の活動報告等と先進林業地の視察等、森林・林業に関する催しを行います。



魚梁瀬千本山国有林



現地検討会

各地のたより



民国連携のための

現地調査を実施

〈徳島森林管理署〉

四月二四日、徳島県つるぎ町一宇の赤帽子山（一，六一一m）北面に広がる民有林と国有林（実

平国有林一一八林班）で、民国連携の促進を図るため、現地調査と意見交換会を行いました。

徳島県は、近年のスギ人工林資源の充実を受けて、一〇年間で県産材の生産・消費量を倍増させることを目標に、平成二三年度から「次世代林業プロジェクト」を展開しています。この中で、高効率集約化する「高能率団地」を県下に六〇箇所配置することとしており、赤帽子北面には約一，〇〇〇haの高

能率実平団地がすでに設定されています。一方、当署の管理・経営する国有林の大部分は、戦後、保安林整備臨時措置法等で買入れた森林で、標高の高い場所に散在しているため、民有林を通過しなければ路網や森林整備ができない箇所が多いことが課題です。

この実平国有林は、赤帽子山北面上部に带状に分布しており、これまで間伐は未実施でした。

民有林の高能率実平団地には作業路網が部分的に開設されており、これを利用することができれば国有林に到達できる上、利用間伐も実施することが可能となることから、民有林と国有林が協力して路網や森林整備ができないか、県の担当者と検討を進め、関係者の認識を共有するため現地調査を行ったものです。

当日は、当署と、西部県民局、つるぎ町、森林組合の担当者一七名が参加し、林道から民有林の作業路網を経由して国有林に入り、路網の状況や林況などを確認しました。

その結果、国有林には早急に整備すべき人工林資源が一定量あり、民有林の作業路網を延長すれば、施業は実施できるとの認識で一致しました。その後、つるぎ町役場一宇支所で意見交換会を開催しました。当署から提案をした民国連携を進めるための協議会の設置や協定の締結について概ね同意され、今後は民有林と国有林が連携して計画的に取り組めるように、関係者で協議を行っていくことになりました。

平成二三年度から「次世代林業プロジェクト」を展開しています。この中で、高効率集約化する「高能率団地」を県下に六〇箇所配置することとしており、赤帽子北面には約一，〇〇〇haの高

能率実平団地がすでに設定されています。一方、当署の管理・経営する国有林の大部分は、戦後、保安林整備臨時措置法等で買入れた森林で、標高の高い場所に散在しているため、民有林を通過しなければ路網や森林整備ができない箇所が多いことが課題です。

この実平国有林は、赤帽子山北面上部に带状に分布しており、これまで間伐は未実施でした。

民有林の高能率実平団地には作業路網が部分的に開設されており、これを利用することができれば国有林に到達できる上、利用間伐も実施することが可能となることから、民有林と国有林が協力して路網や森林整備ができないか、県の担当者と検討を進め、関係者の認識を共有するため現地調査を行ったものです。

当日は、当署と、西部県民局、つるぎ町、森林組合の担当者一七名が参加し、林道から民有林の作業路網を経由して国有林に入り、路網の状況や林況などを確認しました。

その結果、国有林には早急に整備すべき人工林資源が一定量あり、民有林の作業路網を延長すれば、施業は実施できるとの認識で一致しました。その後、つるぎ町役場一宇支所で意見交換会を開催しました。当署から提案をした民国連携を進めるための協議会の設置や協定の締結について概ね同意され、今後は民有林と国有林が連携して計画的に取り組めるように、関係者で協議を行っていくことになりました。



樹木ガード設置作業

が、ニホンジカはモミの樹

は飯野山の自然にふれなが

育しています

た。

モミの丘は、

飯山北地区コミュニテイ推

また、ダケ

進協議会から森林教室の講

ウラジロモミ

師派遣依頼があり、当所か

が純林状に生

ら三名の職員が参加しまし

時間、作業に汗を流しまし

た。

資材はあらかじめ現地

に運んでいたため、短時間

の作業でしたが、一四九本

の樹木に樹木ガードを巻き

つけたことができました。

この樹木ガードの耐用年数

は一〇年以上ですから、樹

木ガードを設置した樹木

は、長い期間、シカの食害

を免れることができます。

こうした対策は、まだまだ

掘点的な取組に過ぎませ

NPOの協力で

ニホンジカ食害

対策を実施

〈徳島森林管理署〉

四月二十五日、三嶺登山道沿いの通称「ダケモミの丘」上部の国有林（三嶺国有林二七〇二九林班）で、NPO三嶺の自然を守る会（暮

四月二十五日、三嶺登山道沿いの通称「ダケモミの丘」上部の国有林（三嶺国有林二七〇二九林班）で、NPO三嶺の自然を守る会（暮

四月二十五日、三嶺登山道沿いの通称「ダケモミの丘」上部の国有林（三嶺国有林二七〇二九林班）で、NPO三嶺の自然を守る会（暮

四月二十五日、三嶺登山道沿いの通称「ダケモミの丘」上部の国有林（三嶺国有林二七〇二九林班）で、NPO三嶺の自然を守る会（暮

四月二十五日、三嶺登山道沿いの通称「ダケモミの丘」上部の国有林（三嶺国有林二七〇二九林班）で、NPO三嶺の自然を守る会（暮

飯野山で自然体験・

森林教室

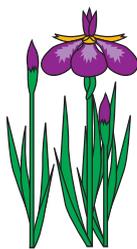
〈香川森林管理事務所〉

当所では、讃岐富士と呼ばれる飯野山において、飯山北地区コミュニテイ推進協議会と遊々の森（名称「おじよもふれあいランド」）協定を結んでおり、丸亀市内の小学生を対象に森林環境教育を行っています。

今回は、飯山北小学校三・四年生（二六〇名）の遠足（飯野山登山）に併せて、

飯山北地区コミュニテイ推進協議会から森林教室の講師派遣依頼があり、当所から三名の職員が参加しました。

当日は快晴で、児童たちは飯野山の自然にふれなが





森林教室の様子

ら元気よく約二時間の行程で登山し、昼食後に七箇森林事務所の酒井森林官による森林教室を行いました。

森林教室では、森の役割「働き」や森に棲む生き物について、森を棲み家とする動物・虫・植物などの写真をたくさん使った酒井森

について、森を棲み家とする動物・虫・植物などの写真をたくさん使った酒井森

林官自作のパンフレットによる説明を行い、児童たちは森の働きについて学びました。また、見たことのないイノシシの足跡の写真や虫などには特に関心を寄せ

ていました。今後も児童たちには、自然体験など機会あるごとに森にふれあいながら自然観察等を行って

てもらいたいものです。

なお、飯山北地区コミュニティ推進協議会では、今年度も小学生を対象とした木工教室（巣箱作り）などを計画していきます。

飯野山で

「里山まつり」

〔香川森林管理事務所〕

四月二二日、飯野山の登山口において、「里山まつり」が行われました。

飯野山は、丸亀市と坂出市にまたがって位置し、レクリエーションの森の「風景林」となっており、年間約五万人が訪れます。標高が四二二mあることから、これにちなんで平成二二年度に、丸亀市観光協会において四月二二日を「讃岐富士の日」として制定し、イベントを開催しています。

三年目の今回は、春の里山歩きの到来を告げる山開きとして「里山まつり」などの各種イベントが行われ



テープカットをする眞鍋所長（左から2人目）

然体験の場として多くの皆さんに活用していただきたいと考えています。本日は、怪我のない楽しい一日となることを願っています」と挨拶があつた後、山開きのテープカットを行いました。

たものです。

当日は、時折雨の降るあいにくの天気でしたが、里山まつりの開会式には、丸亀市長・坂出市長をはじめ多くの関係者が出席し、当所の眞鍋所長からは、「飯野山はその大部分が国有林で、また、瀬戸内海国立公園や保健及び風致等の保安林にも指定されており、自

は約一二〇人で、初めて飯野山を登山された方からは、「景色が素晴らしい。登山道もきちんと整備されている。」といった感想が聞かれました。

今後も、さらに地域から親しまれる山になって欲しいと考えており、所としても協力していく考えです。

ニホンジカ食害

防止活動で山を守れ

〈高知中部森林管理署〉

四月二十九日、当署と三

嶺の森をまもるみんなの会の主催で、ニホンジカの食害を受けて荒廃が進む香美市の白髪分岐周辺において、防護柵の設置やラス巻き、菰こもを使った表土の流失止めを行いました。

この活動は、平成一九年から始まり、今回で一五回目になります。「みんなの会」の熱心な呼びかけに、高知工科大学、高知大学の学生や教職員の方々四三名を含め、約九〇名が参加しました。

当初実施予定日が、雨天



初参加で獣害防護柵設置しました。

岐の北面の裸地化した区域を囲むように、四組に別れて柵を設置していきまし

た。約三時間ほどかかって、総延長四百メートルの防護柵が設置されました。一方、「ラス巻き班」は、白

髪分岐の南面に向かい、今年新たに剥皮被害を受け始めた樹齢二百年余りのモミの木などを守るために、ラスを次々に巻き付けていきました。また、「菰を使った表土流失班」は、カヤハゲまで足を伸ばし、筋状に表土流失が始まっている箇所に、菰を丸め竹串で

のために一週間延び大型連休と重なったため、従来から、参加されている方々が少なく、ボランティア活動初体験の方が多く参加しました。

当日は午前九時過ぎに山の麓に着き、そこから急な登山道を一時間余り登って、やっと白髪分岐の頂上につきました。こ

「防護柵班」は、白髪分岐の北面の裸地



多くの方がシカ食害防止活動に集まっていただきました。

地面に固定しました。参加者からは、「初めてこのような急峻な山に登りました。柵の設置では、一部やり直しが必要で大変だったけ